

2023 年度保育内容等の自己評価チェックシート

記入日 令和 年 月 日

記入者

園長	主任	保育士①	保育士②	調理員

※保育士①…指導計画作成を行っている。 保育士②…指導計画作成を行っていない。

自己評価チェック内容	記入欄 ※○を記入		
	イ	ロ	ハ
	よく出来ている	ほぼ出来ている	努力が必要

1 保育の理念・保育観				
1-1	あなたはすべての子どもについて、一人ひとりとその人権を尊重していますか。	78%	22%	0%
1-2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育園の重要な使命と理解していますか。	78%	22%	0%
1-3	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識して保育をしていますか。	89%	11%	0%
1-4	保育園の保育が養護と育成が一体となって行われる、ということ意識して保育をしていますか。	89%	11%	0%
1-5	今日の保育園には、入園している園児の保育だけでなく、広く地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識していますか。	67%	33%	0%
1-6	子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定観念や性別役割分業意識を植えつけることのないように配慮していますか。	44%	56%	0%
1-7	日頃から子どもに身体的苦痛を与えたり、精神的苦痛を与えることが無いようにしていますか。」	89%	11%	0%
1-8	個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。	100%	0%	0%
1-9	育児の考え方について保護者とあなたが食い違っているとき、まず相手の気持ちを受け止め、その保護者の立場や考え方を理解するように努めていますか。	100%	0%	0%
1-10	子どもの家庭状態は多様だという考え方の上で、今その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。	44%	56%	0%
1-11	子どもが集中しているときは、その時の保育の内容や流れに変更が生じても危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性をもっていますか。	50%	38%	12%
1-12	子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいますか。	67%	22%	12%
1-13	一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができます。	63%	37%	0%

	13項目 合計	74%	25%	1%
--	---------	-----	-----	----

2 保育内容				
(1) 保育計画・指導計画				
2-1	指導計画を作成するとき「保育所保育指針」を読み参考にしていますか。	0%	75%	25%
2-2	保育には指導計画（年・月・週・日案）の作成という、あらかじめ見通しを持った計画性できていますか。	50%	50%	0%
2-3	子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、指導計画を作成していますか。	75%	25%	0%
2-4	指導計画には、子どもの意欲を誘う環境構成が十分くふうされていますか。	75%	25%	0%
2-5	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解したうえで指導計画を作成していますか。	75%	0%	25%
2-6	園の保育理念や方針、目標、指導計画などのねらいや内容を、保護者にわかるように説明できますか。	0%	75%	25%
2-7	季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画の中に取り入れるようにしていますか。	75%	25%	0%
2-8	作成した指導計画が実際の子どもの姿、興味、関心に合っていたかという視点から、自分の保育の評価・反省をしていますか。	75%	25%	0%

	8項目 合計	53%	38%	9%
--	--------	-----	-----	----

2 保育内容				
(2) 0歳児の保育				
2-9	登園時の子どもの健康観察を行っていますか。	83%	17%	0%
2-10	一人ひとりの子どもの出世時の状況、その後の発育・発達など成育歴を把握するとともに、保護者の状況（背景）も理解していますか。	50%	33%	17%
2-11	調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認しあっていますか。	100%	0%	0%
2-12	授乳について、その子が欲しがるときに優しく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。	67%	33%	0%
2-13	離乳食は家庭と連携を取りながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調にあうように工夫していますか。	67%	33%	0%

2-14	その子にとって初めての食品を食べさせたときは、皮膚や便性などに異常がないか観察していますか。	60%	40%	0%
2-15	オムツ交換は「きもちいいね」などやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を確認していますか。	50%	33%	17%
2-16	赤ちゃんの目の動き、泣く声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。	83%	17%	0%
2-17	子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたり、健康増進をはかるようにしていますか。	100%	0%	0%
2-18	喃語にはゆったりと応えたり、優しく話しかけたりして、発語の意欲を育てていますか。	83%	17%	0%
2-19	絵本を見せながら、その子の指すものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、そのやり取りを楽しみことができますか。	83%	17%	0%
2-20	どんな状況でも赤ちゃんの笑顔や、しぐさをかわいいと感じることができますか。	100%	0%	0%
2-21	自分の服装、頭髪、爪などの清潔や、室内の清掃にも配慮していますか。	0%	80%	20%
2-22	寝返りのできない乳児を寝かせる場合には、仰向け寝かせるようにするとともに、睡眠中の姿勢、布団、呼吸の確認をしていますか。	83%	17%	0%
2-23	一人一人の生活リズムや欲求、その日も体調を把握したうえで、睡眠時間を調整する柔軟性を持ち合わせていますか。	50%	50%	0%
2-24	連絡ノートを活用するなどして、保育園以外での子どもの様子も把握するように努めていますか。	100%	0%	0%
2-25	子ども一人一人の個人差を尊重、把握して保育をしていますか。	100%	0%	0%

	16項目 合計	76%	22%	2%
--	---------	-----	-----	----

2 保育内容				
(3) 1, 2歳児の保育				
2-26	登園時の子どもの健康観察を行っていますか。	57%	43%	0%
2-27	子ども一人一人にわかりやすい温かな言葉で、穏やかに話しかけていますか。	75%	25%	0%
2-28	その子の背景に配慮しながら、その子の気持ちを十分に満たすなど、個別対応の努力や工夫ができていますか。	57%	43%	0%
2-29	「これなあに」「どうして」などの繰り返しの質問に、忙しいときでも出来るだけその都度応えるようにしていますか。	88%	12%	0%

2-30	探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えたうえで子どもが要求する行動を認めることができますか。	86%	14%	0%
2-31	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉がけをし、時間を要しても自分からやろうとする気持ちを大切にしていますか。	86%	14%	0%
2-32	食べ物をこぼしたり汚したりすながらも、自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気ですることを大事にしていますか。	86%	14%	0%
2-33	玩具の取り合い等のケンカの際、危険が無いように配慮しつつ、子どもたちの心の動きを考えながらしばらく見守ることができますか。	71%	29%	0%
2-34	「何だろう」「これで遊ぼう」など好奇心や興味を引き起こす材料や素材、場を用意する気配りをしていますか。	43%	57%	0%
2-35	自分のことは自分でしようとする意欲を持つよう励ましたり、見守ったり、その後達成感を味わえるように配慮していますか。	86%	14%	0%
2-36	散歩の際、保育者も一緒に楽しみ植物や虫、動物などから興味を見つけ出し子どもたちとともに関心を持つことができますか。	86%	14%	0%
2-37	子どもと会話をするとき、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞き、子どもの話したい気持ちや伝えた喜びを共感していますか。	71%	29%	0%
2-38	自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆっくり、はっきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけていますか。	43%	57%	0%
2-39	「絵本を読んで」「遊んで」と言われたとき、場面に応じて「待って」といった場合、その理由をしっかりとその子に伝えていますか。	71%	29%	0%
2-40	歌を歌ったり、リズムをして体を動かすとき、子どもたちと一緒に楽しみながら取り組むことができますか。	86%	14%	0%
2-41	自分の思いどおりにならず、怒ったり泣いたりする子に対し、丁寧に話を聞かせ気持ちを切り替える時間を取ってあげることができますか。	57%	43%	0%
2-42	子ども一人一人の個人差を尊重、把握して保育をしていますか。	86%	14%	0%

	17項目 合計	73%	27%	0%
--	---------	-----	-----	----

2 保育内容				
(4) 行事				
2-43	園が従来から続けてきた行事について、その行事の行う意味を十分に考えてから保育に取り組んでいますか。	63%	37%	0%
2-44	みんなが楽しみながら取り組むとともに、一人ひとりが自分の力を発揮できるような行事内容となっていますか。	75%	25%	0%
2-45	子どもたちにとってその季節や、時期にしか味わえないような体験となるよう、行事に工夫を凝らしていますか。	89%	11%	0%

2-46	子どもたちが期待を持って行事に参加できるように、期待を膨らませていく保育を行っていますか。	75%	25%	0%
2-47	行事に参加することを嫌がる子には、その気持ちをくみ取り、その子が活躍できる場を用意していますか。	37%	63%	0%
2-48	行事が子どもの生活や遊びから発展していくように、日々の保育の積み重ねの結果となるよう心掛けて保育をしていますか。	63%	37%	0%
2-49	保護者や地域住民に協力をしてもらおう行事については、事前にその趣旨を説明し、理解や協力を得ていますか。	37%	63%	0%
2-50	子どもも保護者も期待を膨らませる行事には、あなたも自ら喜んで、余裕をもって参加できていますか。	75%	25%	0%

	8項目 合計	64%	36%	0%
--	--------	-----	-----	----

3 保健活動・安全管理				
3-1	健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。	37%	63%	0%
3-2	子どもが活動しやすいように、その都度保育室の換気や温度。湿度に配慮していますか。	63%	37%	0%
3-3	その子の体調の些細な変化や以上に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。	63%	37%	0%
3-4	子どもに何らかの異常が見つかった場合、より適切な処置ができるように、日頃から学習をしていますか。	13%	75%	12%
3-5	睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。	75%	25%	0%
3-6	日頃から虐待の早期発見を心がけ、日々保育をしていますか。	75%	25%	0%
3-7	棚などからの落下防止、ピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、保育室の安全点検を整理整頓を毎日行っていますか。	50%	50%	0%
3-8	地震や火災などに備え、非常災害時に自分が何をしなければいけないか理解していますか。	67%	33%	0%
3-9	不審者が侵入してきた場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日ごろから心がけて保育をしていますか。	44%	56%	0%

	9項目 合計	64%	36%	0%
--	--------	-----	-----	----

4 食育				
4-1	子ども一人ひとりの体調をしっかりと把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。	78%	22%	0%
4-2	給食の食べ具合など、必要に応じて保護者に知らせていますか。	88%	12%	0%
4-3	その子の発達に応じたの食べ方、スプーンやフォークの持ち方などを指導していますか？	88%	12%	0%
4-4	子どもが楽しく食べることが出来るよう、食事への工夫はしていますか。	89%	11%	0%

	4項目 合計	86%	14%	0%
--	--------	-----	-----	----

5 保護者との連携				
5-1	園での様子を伝え家庭での様子を聞く中で、子どもの育ちを保護者とともに考え、喜び合うことができますか。	75%	25%	0%
5-2	その日の子どもの健康状態や興味を持ったあそびなど、必要に応じてお迎えの時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	87%	13%	0%
5-3	保護者から悩みや心配事を話してみたいくなるような、一緒に考えてくれる存在になれるように、保護者との関係を作れていますか。	38%	38%	24%
5-4	保育に批判的な保護者であっても、対立せず意見や要求を聞こうとする姿勢がとれていますか。	63%	37%	0%
5-5	連絡帳を保護者がその内容をよく理解することができ、楽しみにするような書き方をしていますか。	75%	25%	0%

	5項目 合計	68%	28%	4%
--	--------	-----	-----	----

6 保育士としての役割・資質向上				
6-1	欠勤したときの出来事や連絡、注意事項は自分から尋ね理解するなど、職員間の連携に努めていますか。	75%	25%	0%
6-2	自分のクラスの教材や備品を、責任もって毎日点検、管理することができていますか。	33%	67%	0%
6-3	自分のクラスの物でなくても、教材、教具等の管理が不備であれば、自ら進んで整えることができますか。	50%	38%	12%
6-4	保育士としての責務、誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。	56%	33%	11%

6-5	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができていますか。	89%	11%	0%
6-6	自分の保育に対する批評や意見を、謙虚に聞き入れ、時には反省することができていますか。	89%	11%	0%
6-7	保育をする中で生じた疑問や悩みを、会議などの場で相談、説明することができていますか。	78%	22%	0%
6-8	その日の子ども一人一人の様子を把握し、子どもの活動や姿を記録にとどめることができていますか。	75%	25%	0%
6-9	子ども一人一人の課題を見つけ、ケーススタディ（分析、検討、積み重ね）をすることができていますか。	25%	75%	0%
6-10	保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書などをみつけ、そこから学ぶことができていますか。	34%	33%	33%
6-11	他のクラスの保育について、疑問や感想、意見を、お互いの向上のために素直に述べることができますか。	50%	38%	12%
6-12	自分から積極的に研修をみつけ、参加することができていますか。	56%	44%	0%
6-13	あなたは園の保育理念（保育方針）を理解、把握して保育を行っていますか。	56%	44%	0%

	13項目 合計	59%	36%	5%
--	---------	-----	-----	----

	93項目 合計	68%	30%	2%
--	---------	-----	-----	----

小規模保育事業所の認可を受け2年目の保育となり、昨年と比較すると保育者一人一人が昨年より自信を持ち、保育、こども一人ひとりのついて考え行動することが増えてきているように感じられます。

小規模保育事業ならではの保育、小規模保育事業所でなければできない保育を追及していくためには、保育者一人ひとりが保育を追及し、小規模保育事業所の保育所をとほんなものなのかを考えていく必要があります。そのためには年に一度しかありませんがこの自己評価というものが大切になっていくのではないのでしょうか。個々の考え方や立場等によってこの評価の回答内容は変わってはきますが、来年度以降この評価を意識して保育ができていくよう心掛けていきましょう。

イ【よく出来ている】、ロ【ほぼ出来ている】の回答については引き続き保育に生かしていき、今回はハ【努力が必要】と回答している項目について、園長の考えをもとに考察していきます。

1、保育の理念・保育観

イ【よく出来ている】…74%

ロ【ほぼ出来ている】…25%

ハ【努力が必要】…1%

保育の理念・保育観については、イとロの答えのみとなりだいぶ高い評価となっていました。

今年度は保育者と保護者のかかわり方について意識して働きかけてきたということもあり、問【1-8】、問【1-9】の回答が100%となっています。

その反面パーセンテージが低くなっているのは問【1-6】、問【1-11】。こども一人ひとりの成長の差や個人差などを保育者が柔軟にとらえるということができるといえることが大事になってきます。このことは小規模保育事業所ならではの、小規模保育児事業所だから出来る保育につながっていくので今後も考えていく必要があります。

2、保育内容 (1) 保育計画・指導計画

イ【よく出来ている】…53%

ロ【ほぼ出来ている】…38%

ハ【努力が必要】…9%

この項目でもおおむねイとロの答えが多くなっていました。ハの努力が必要は【2-1】、【2-5】、【2-6】の問いとなっています。そのうち【2-5】と、【2-6】の問いに関しては昨年度も同じような数値となっています。今年度より会議の時にクラス会議を設けるようにしてきましたが、さらにクラス単位での会議を設ける時間を作り少しでも考え方などを深めていければと考えています。

【2-6】に対しても月の職員会議等で園としての保育方針を常に確認し、日々保育していく中で保育方針がずれてしまわぬようにしていく必要があります。保育者ひとりひとりが保育方針をしっかりと理解したうえで保育を行うことで自身につながり、保護者への対応、関りも変わっていくと考えています。

2、保育内容 (2) 0歳児の保育

- イ【よく出来ている】…76%
- ロ【ほぼ出来ている】…22%
- ハ【努力が必要】…2%

この項目では、イ【よく出来ている】の数値が他の項目と比べると一番高い数値になっています。さらに0歳児の保育に関して深め大切に一人ひとりを尊重した保育をしていきましょう。その反面、2-21は全項目中唯一イ【よく出来ている】が0%の項目となっています。このことに関しては、保育者一人ひとりが意識を高めていく必要があります。

↓ 去年の総評をそのまま載せました。

2-10 一人ひとりの子どもの出世時の状況、その後の発育・発達など成育歴を把握するとともに、保護者の状況（背景）も理解していますか。
この問いはとても重要です。子どもの姿だけではなく、保護者の今の状況や精神面、他には家の状況や生活環境などを、しっかり情報を得て保育する必要があります。そのためには保護者との信頼関係が必要となり、信頼関係を築くためには…と繋がっていきます。

2、保育内容 (3) 1, 2歳児の保育

- イ【よく出来ている】…73%
- ロ【ほぼ出来ている】…27%
- ハ【努力が必要】…0%

去年はロ【ほぼ出来ている】の回答が半数以上をしていますが、今年はイ【よく出来ている】の回答が多くなって、昨年3項目ハの回答がありましたが、今年はなくなっていました。小規模保育事業所2年目ということもあり、保育者の保育観や保育の方向性が少しずつまとまってきた感じはみられます。

1, 2歳児の保育で重要なポイントのひとつは、保育者と園児の1対1の関係性です。その子の内面や現状さらに背景を考えたうえで言葉や行動を変えていくことで、その子の成長に大きく関わっていくこととなります。そして多くの言語を習得するこの時期には保育者の言動は大きく関わってくることを常に頭にいれ保育する必要があります。

2、保育内容 (4) 行事

- イ【よく出来ている】…64%
- ロ【ほぼ出来ている】…37%
- ハ【努力が必要】…0%

とりのはね保育園で行事やイベントを行うとき大事にしている考え方は、【行った】と【取り組んだ】の違いです。毎年この年齢になったらこの行事を行うのではなく、今の子どもたちを見て、何を子どもたちにさせてあげたいか、何をしたがつているのかを読み取り行事やイベントにつなげていく。【行った】と【取り組んだ】その意味をしっかりと考えて保育につなげていってほしいです。

3、保健活動・安全管理

- イ【よく出来ている】…54%
- ロ【ほぼ出来ている】…45%
- ハ【努力が必要】…1%

昨年度の反省をいかし昨年よりだいぶイ【よく出来ている】ロ【ほぼ出来ている】の数値が高くなり、ハ【努力が必要】と答えているのは、【3-4】…子どもに何らかの異常が見つかった場合、より適切な処置ができるように、日頃から学習をしていますか。この項目だけとなっています。

この保健活動・安全活動は子どもの怪我や命を守る大事な項目となります。日頃の保育、保育環境整備から「もしも」のことを考え、想像し、危険予知の力をつけていく必要があります。事故、災害が起きてからでは遅いので、充分気を付けて保育をしてください。

4、食育

- イ【よく出来ている】…86%
- ロ【ほぼ出来ている】…14%
- ハ【努力が必要】…0%

ハ【努力が必要】の回答がなかった項目となります。それだけみなさんが食育に関して力をかけているのがわかります。食育とういだけあって、食事を通じて子どもを育てなければいけません。体の成長はもちろん、気持ち、仕方、マナーなども伝える必要があります。出来る、出来ない、食べられる、食べられない、ということだけでなく、食事の雰囲気なども大事となります。引き続きお願いします。

給食には何の野菜やお肉が使われているのか、野菜の水やりなどを通じて野菜のでき方や、色、においなどを感じたり、給食以外の時間の食育にさらに力を入れていくことが今後につながると考えられます。

5、保護者との連携

- イ【よく出来ている】…68%
- ロ【ほぼ出来ている】…28%
- ハ【努力が必要】…4%

この項目で唯一ハ【努力が必要】がついているのは、

【5-3】 保護者から悩みや心配事を話してみたくなるような、一緒に考えてくれる存在になれるように、保護者との関係を作れていますか。

の質問事項となります。働き方によっては保護者と会える機会が少ない職員もいますが、どうすれば信頼関係が築けるのか…これは日々、保護者と子どもの話しをしていく以外ないと思います。保護者が聞きたいことは子どもの良いところ。出来るようになったこと=成長した事が一番聞きたいはず。子どもの命を預かっている以上、保護者の関り無しでは子どもを成長させる保育はできません。すごく保育にとって大事なことなので来年も頑張りましょう。

6、保育士としての役割・資質向上

- イ【よく出来ている】…59%
- ロ【ほぼ出来ている】…36%
- ハ【努力が必要】…5%

この項目でいえることは、保育者一人ひとりが勉強（いかに様々なアンテナを立てているか、新しい情報を取り入れる力があるか）が大事で、そのアンテナを立てていないと保育は発展せず保育の資質は良いものにはっていかないと思います。保育者が様々なことを吸収することによって保育につながり、子どもたちに様々な経験となって成長の手助けとなるはずです。この勉強というのは、保育、子どもに関わることはもちろんですが、それ以外の事、生き物、自然、食べ物、物質などなど。こどもたちにとって興味につながるものであれば全て勉強になるのではないかと考えています。

常に園、保育者が新しい考えを取り入れ、今の時代の保護者、今の時代の子どもたちのしっかり受け入れ保育できるよう考えていくようにしましょう。

総計

イ【よく出来ている】…68%

ロ【ほぼ出来ている】…30%

ハ【努力が必要】…2%

全体的にイ【よく出来ている】ロ【ほぼ出来ている】の数値が昨年度より高くなっていました。引き続き保育者が自信をもって保育ができるように、保育者が働きやすい環境になるように努めていきます。

①分析＝想像する、考える

②検討＝ではどうすればよいか

③積み重ね＝その事柄に対してアクションを起こす。

↓

①分析に戻る

この繰り返しを行わなければ、良い方向には進んでいかず、足踏み、又は後退してしまうこともある。

このケーススタディの繰り返しが＝【子どものこと】をみる ということになる。